

保育者の資質に関する一研究

一 幼稚園実習と保育園実習の評価総評の分析一

大西 道子

(札幌大谷短期大学)

I はじめに

保育実習の事前指導に当たって保育者としての資質は何か、現場から求められている養成内容は何か。いつも悩みつつ学生を送出している。本学で保育士養成を始めて3年を経過した。この間その実習評価を目にして幼稚園からの評価と多少異なるように感じた。特に保育園では「優しさ」「穏やかさ」といった性格や雰囲気につながる用語が多いような印象をもった。そこで実習生に対する評価の視点、保育者としての求めるところ等が幼稚園現場と保育園現場とではどう異なるかを実習評価の総評からみることにする。実習後の評価は、実習態度・保育者としての資質についての10項目を5段階でなされる。この評価は、園間の基準の相違が大きく、評価に表われる数値で統計的処理による判断はできない。そこで今回は総評として自由記述された内容から現場の先生や園長が実習生に求める保育者としての資質を検討する。

II 方法

1. 対象；平成11年保育科2年生93名
 2. 資料；上記学生が幼稚園実習3週間（実質15日）、保育園実習（実質10日；1年次2週間の保育園実習を体験している）の実習後に実習園から報告された評価票の総評欄（自由記述）
 2. 分析方法：総評欄（自由記述）から保育者をめざす実習生としてその資質に通ずる評価表現を取り上げ同じ様な内容で幼稚園、保育園別にグループ化しその頻度から考察を進める。
 3. 資質についてのグループ化の方法
 - ① 人としての人格、性格等個人の持つ自己関係的領域に焦点をおいての評価表現、例：素直、明るい、優しい、
 - ② 子どもとの関わり方に焦点をおいての評価表現、例：積極的に子どもと関わる、いろいろな子どもと関わろうとする、子どもの目線に立つ、
 - ③ 教職員や親等おとなとの関わりに焦点をおいての評価表現、例：担任の意図を汲み取る、助言を受け入れる
 - ④ 保育技術、保育姿勢に焦点をおいての評価表現、どちらかといえば保育理論が基礎となる保育技術、例：適切なことばかけ、遊びの提案、子どもを惹き付ける内容や指導力
- 子どもとの関わりでもある→学習の効果に通ずる内容

→個人の人格に帰属するところと深く関わっている部分ともいえるが養成校として効果を期待できる領域

⑤ 実習日誌の書き方、内容、カリキュラム作成、それらの準備・教材研究等でどちらかといえば実技的領域で得意・不得意に関わり易い領域

⑥ 実習生（保育者）としての姿勢・人格的領域→自己の領域に保育学習効果が加味された領域、例；真剣に取り組む、反省を生かす、創造性豊かな保育者

III 結果と考察

幼稚園と保育園からの評価総評を上記分析領域別、幼稚園・保育園別にその頻度と割合を整理したものが表1である。保育園での実習はさらにその内訳を実習した主な対象が2歳児以上の幼児、0才～5才までの乳幼児、0～2歳児未満の乳児別に人数とその割合も示した。また現場の重視する内容を見るために記述された全資質件数に対する割合と対象学整数に対する割合として整理した。

1. 重視された資質

人としての人格、性格等個人の持つ自己関係的領域がより重視され、およそ4割を占めた。中でも誠実、素直、積極的、向上心、明るさ、優しさといった態度・性格が好ましいとされている。

次に多かったのは子どもとの関わりについてで、およそ25%を占め、積極的に子どもと関わる、こどもの立場に立って関わる、愛情をもって関わるといった関わり方が重視されていた。

指導案や日誌の書き方、教材研究等短大で学習した直接的知識・技術の領域で15%、17%であまり多くは占めていなかった。教師や他の大人との関係については5%、3%であまり取り上げられない領域であった。これは実習生として要求ないのであろうが、実際教諭・保育士として社会に出た時には大きないちを占めると予想される。

2. 幼稚園教諭と保育士の比較

①総評で取り上げられた項目数は452と360で一人当たり約1項目多く幼稚園の方が多く記述されていた。保育時間が短い分事務的なところに時間をかけられるということなのだろうか。

②幼稚園の方が重視されている項目；素直・誠実、熱心さ、感性・表現力、／子どもの立場、明るく元気、／相

談・助言／保育技術／準備／実習姿勢

③保育園の方が重視されている項目；積極性／指導案

積極性は幼児どちらも重視されている項目であるが、比較すると保が一段と重視していることがわかる。しかも乳児、乳幼児と関わったグループで、より重視されており、パーソナリティとしての積極性が重視されていた。保育園の特に乳児で指導案についてより多く問題にしていたのは意外であった。保育園での乳児に対する配慮が伺われる。

3. 両者から求められる「積極性」

行動特性やパーソナリティの側面としての積極性と子どもとの関わり方としての積極性が挙げられ合わせると幼稚園では全体の14%、保育園では18.5%も占めている。また幼稚園実習生の43%もが積極性を取り上げられており、その他に向上心や表現力、明るく・元気に等「積極的」に近接内容も含めると実習生には積極性は重要な資質と言えよう。

4. 「優しさ」について

幼保同じ人数で意外であった。全体の件数との割合で見るとわずかに保育園の方が多かった。

5. 現場の求める実習生像

まず第一にパーソナリティとして素直で誠実性に富み、積極的に優しさを兼ね備えているが、子供の立場に立って積極的に子どもと関わる。その際指導者によく相談し、よく準備し保育に臨む姿勢がみえること。乳児に対して発達理解に基づいた準備と積極的な関わりの出来る人といった保育者像が浮き彫りになってくる。

IV まとめ

保育者の資質を検討するために、学生の実習後の幼稚園、保育園からの評価票の総評を分析した。その結果実習生に対する評価の記述のおよそ4割は個人のもつパーソナリティの領域に起因するものでありその内容は、積極性、素直・誠実がより多く挙げられ、次に向上心、優しさが重視されていた。同じ位重視されていたのは子どもと積極的に関わること、子どもの立場に立って、愛情をもって関わることであった。大学でより学習する知識・技術に関わる領域に関しては比較的低かった。今後さらに学生自身はどう整理しているか、現場教諭・保育士としてはどうあるべきか調査検討を進めたい。

(分析協力：秋山有見子)

表1 幼稚園実習、保育園実習の評価総評であげられている資質項目・件数・割合

資 質 項 目	抽出した全件数 (幼稚園452、保育園360) に対する割合										対象学生数 (93名) に対する抽出件数の割合								
	幼稚園		保 育 園		幼稚園		保 育 園		幼稚園		保 育 園		幼稚園		保 育 園				
	件数	%/452	件数全体	%/360	幼児件数	%/172	乳幼児件	%/94	乳児件数	%/94	幼・保(件数%)*	幼稚園 %/93	全保育園 %/93	幼保比較 (幼・保)* %/44	幼児 %/27	乳児 %/22			
人 格 ・ 性 格 の 領 域	素直、誠実	30	6.64	16	4.44	7	4.1	5	5.3	4	4.3	2.19	32.3	17.2	15.1	15.91	18.52	18.18	
	積極性	24	5.31	32	8.89	10	5.8	12	12.8	10	10.6	-3.58	25.8	34.4	-8.6	22.73	44.44	45.45	
	向上心	20	4.42	25	6.94	14	8.1	5	5.3	6	6.4	-2.52	21.5	26.9	-5.4	31.82	18.52	27.27	
	明るさ	18	3.98	20	5.56	12	7.0	2	2.1	6	6.4	-1.57	19.4	21.5	-2.2	27.27	7.41	27.27	
	優しさ	17	3.76	17	4.72	9	5.2	4	4.3	4	4.3	-0.96	18.3	18.3	0.0	20.45	14.81	18.18	
	熱心さ	12	2.65	2	0.56	1	0.6			1	1.1	2.10	12.9	2.2	10.8	2.27		4.55	
	感性、表現力	9	1.99									1.99	9.7		9.7				
	礼節、常識	8	1.77	12	3.33	6	3.5	5	5.3	1	1.1	-1.56	8.6	12.9	-4.3	13.64	18.52	4.55	
	健康	7	1.55	8	2.22	5	2.9	2	2.1	1	1.1	-0.67	7.5	8.6	-1.1	11.36	7.41	4.55	
	笑顔	7	1.55	8	2.22	5	2.9	1	1.1	2	2.1	-0.67	7.5	8.6	-1.1	11.36	3.70	9.09	
	計	152	33.63	140	38.889	69	40.1	36	38.3	35	37.2	-5.26							
	子 ども の 関 係	積極的	40	8.85	34	9.44	15	8.7	7	7.4	12	12.8	-0.59	43.0	36.6	6.5	34.09	25.93	54.55
		子どもの立場	34	7.52	20	5.56	12	7.0	6	6.4	2	2.1	1.97	36.6	21.5	15.1	27.27	22.22	9.09
		愛情的関わり	21	4.65	20	5.56	11	6.4	2	2.1	7	7.4	-0.91	22.6	21.5	1.1	25.00	7.41	31.82
笑顔		11	2.43	8	2.22	4	2.3	2	2.1	2	2.1	0.21	11.8	8.6	3.2	9.09	7.41	9.09	
明るく元気に		9	1.99	2	0.56	1	0.6	1	1.1			1.44	9.7	2.2	7.5	2.27	3.70		
落ち着いて		3	0.66				0.0					0.66	3.2		3.2				
楽しく		1	0.22	4	1.11	1	0.6			3	3.2	-0.89	1.1	4.3	-3.2	2.27		13.64	
計		119	26.327	88	24.44	44	25.6	18	19.1	26	27.7	1.88	128.0						
大 人 と の 関 係	相談、助言	17	3.76	7	1.94	6	3.5			1	1.1	1.82	18.3	7.5	10.8	13.64		4.55	
	協同性	2	0.44									0.44	2.2		2.2				
	担任理解	2	0.44									0.44	2.2		2.2				
	コミュニケーション			4	1.11	4	2.3					-1.11		4.3	-4.3	9.09			
	親とコミュニケーション			1	0.28					1	1.1	-0.28		1.1	-1.1			4.55	
計	21	4.646	12	3.33	10	5.8			2	2.1	1.32	22.6							
保 育 技 術 1	保育技術	23	5.09	4	1.11	1	0.6	3	3.2			3.98	24.7	4.3	20.4	2.27	11.11		
	保育姿勢3	15	3.32	14	3.89	7	4.1	5	5.3	2	2.1	-0.57	16.1	15.1	1.1	15.91	18.52	9.09	
	集団指導性	8	1.77	9	2.50	4	2.3	2	2.1	3	3.2	-0.73	8.6	9.7	-1.1	9.09	7.41	13.64	
	遊び指導	6	1.33	2	0.56			1	1.1	1	1.1	0.77	6.5	2.2	4.3		3.70	4.55	
	発達理論理解	1	0.22	3	0.83			1	1.1	2	2.1	-0.61	1.1	3.2	-2.2		3.70	9.09	
	計	53	11.73	32	8.89	12	7.0	12		8	8.5	2.84							
保 育 技 術 2 (教 材 研 究 等)	準備	20	4.42	10	2.78	4	2.3	1	1.1	5	5.3	1.65	21.5	10.8	10.8	9.09	3.70	22.73	
	指導案	19	4.20	27	7.50	10	5.8	8	8.5	9	9.6	-3.30	20.4	29.0	-8.6	22.73	29.63	40.91	
	教材研究	17	3.76	14	3.89	6	3.5	6	6.4	2	2.1	-0.13	18.3	15.1	3.2	13.64	22.22	9.09	
	保育技術2	11	2.43	11	3.06	5	2.9	4	4.3	2	2.1	-0.62	11.8	11.8	0.0	11.36	14.81	9.09	
	計	67	14.82	62	17.22	25	14.5	19		18	19.1	-2.40							
実 習 姿 勢	実習姿勢	21	4.65	12	3.33	3	1.7	6	6.4	3	3.2	1.31	22.6	12.9	9.7	6.82	22.22	13.64	
	保育向上心	19	4.20	14	3.89	9	5.2	3	3.2	2	2.1	0.31	20.4	15.1	5.4	20.45	11.11	9.09	
	計	40	8.85	26	7.22	12.0	7.0	9.0	9.6	5.0	5.3	1.63							
計×2	904		720		200		344		200		188								

註：表中の「幼・保*」は幼稚園実習件数割合と保育園実習件数割合の差で「-」は保育園の方が重視されていることを示す